

～「あたりまえをたやさないまち」池田町～

木望の森100年プロジェクト

木を活かした福井県池田町考案のウッズスポーツ

「ゲッター選手権2022」を開催しました！

大会名誉会長パッケンマッケンさん「池田町とゲッターを盛り上げていきましょう！」

■予選・レセプション：令和4年10月8日（土）／本戦：10月9日（日）



池田町および池田町教育委員会は、令和4年10月8日（土）9日（日）の2日間、池田町民グラウンドにて池田町考案のウッズスポーツ「ゲッター選手権2022」を開催しました。

当選手権の大会名誉会長には、福井県とゆかりの深いタレント「パッケンマッケン」が就任。盛況のうちに終了しました。

今回はウッズスポーツの3種目の中から、長い木製の下駄を履き直線コースを駆け抜ける「ゲッター」（4人制の「ゲッタークワッド」、2人制の「ゲッターペア」）の大会です。全国から総勢132名が参加し、杉本町長の挨拶でスタートした選手権は、パッケンマッケンさんとともに笑顔あふれる白熱した2日間となりました。

初日開催のレセプションでは、廃校になった小学校をリノベーションした「農村de合宿キャンプセンター」にて、池田町の風土料理を中心とした「池田・食のバイキング」をご用意し、大会参加者と池田町住民との交流を楽しんでいただきました。また、各受賞者には木望の森ならではの「木製」のオリジナルメダルや盾、副賞は池田町特産品が表彰式で授与されました。

大会に参加したパッケンマッケンさんは、「ゲッターは池田町の象徴ですね、みんなと息を合わせて一步一步に進めば、ゴールは必ず達成できることを学びました！」と笑顔でコメントしました。

福井県池田町は人口約2300人、森林面積が90%を超える森に囲まれた小さな町です。心をいやす日本の原風景、作物をいつくしむ感謝の気持ち、人と人が思いやり、支えあって暮らす「あたりまえをたやさないまち」を目指しています。また、豊かな森を活かし、守り育て、持続可能な社会を作っていくために100年後も人と森とのつながりを紡いでいくことを目的とした「木望の森100年プロジェクト」を推進しています。

人と人とのつながりをはぐくむ競技として生まれた「ゲッター」が、当選手権を通じ、参加者と町との新しい交流を生み出すことを願っています。大会結果詳細および、画像素材については次頁以降を参照ください。

「ゲッター選手権2022」について

■大会概要

大会日程

予選・レセプション：令和4年10月8日（土）

本戦：令和4年10月9日（日）

会場

競技会場：池田町民グラウンド（池田町稻荷 6-1）

レセプション会場：農村 de 合宿キャンプセンター（池田町菅生 23-42）

種目

① ゲッタークワッドの部（4人1チーム） 21チーム 93名参加

② ゲッターペアの部（2人1チーム） 16チーム 39名参加

*いずれも競技人数+1名の選手登録が可能

■ウッズスポーツとは

木望の森100年プロジェクトに取り組む中、平成29年に池田町で考案された木を活かしたスポーツです。ウッズスポーツには「木ッター」「立ッター」「ゲッター」の3種目があります。今大会種目「ゲッター」は長い下駄を履き直線コースを駆け抜ける、選手同士の協働が勝利へのカギを握る競技です。

大会名誉会長パッキンマックンさんはゲッターペアで登場。記念デモンストレーションとして、「木ッター」を杉本町長とチームを組んで、池田町と相互連携協定を結ぶ福井工業大学・留学生のみなさんと、

「立ッター」を地元企業に勤務する女性ペアと、それぞれ対戦しました。

会場があたたかい応援と笑いに包まれる中、ウッズスポーツを体験したパッキンマックンさんは「池田町発信のウッズスポーツがもっと広がって、全国いろいろなところから参加してほしいですね！」と参加者と健闘を称えあいました。



■交流レセプションの様子

初日開催のレセプションは、廃校になった小学校をリノベーションした「農村de合宿キャンプセンター」にて、池田町ならではの風土料理を中心とした「池田・食のバイキング」とともに、参加者と池田町住民の交流を楽しんでいただきました。終了時間いっぱいまで、地元の食と交流を堪能していただく機会となりました。



■大会結果

<ゲッタークワット>

優勝チーム：チームふくざい

準優勝チーム：飯田ゲッターズ

3位チーム：ナナフシ

<ゲッターペア>

優勝チーム：KatoLab

準優勝チーム：レンタルのニッケン300ヤード

3位チーム：北陸電力グループC

<特別賞>

スピードゲッター賞（クワット）：チームふくざい（33.28秒/決勝戦タイム）

（ペア）：KatoLab（22.02秒/決勝戦タイム）

チームベストファッション賞：飯田ゲッターズ





「ゲッター選手権 2022」大会名誉会長 パックンマックン

結成 25 年、アメリカ人と日本人の異国コンビのバイオニアとして、テレビをはじめとしたメディア、イベントなど多岐にわたり活躍されています。パックン（パトリックハーランさん）は福井県とゆかりが深く 2005 年「福井ブランド大使」、2016 年「福井市観光大使」に就任。またパックン・マックン（吉田真さん）とともに 2019 年パラ応援大使に就任されています。

「ゲッター選手権 2022」の大会名誉会長として本戦に参加、参加者とともに大会を盛り上げていただきました。



■「あたりまえをたやさないまち」池田町

福井県池田町は人口約2300人、森に囲まれた小さな町です。心をいやす日本の原風景、作物をいつくしむ感謝の気持ち、人と人が思いやり、支えあって暮らす「あたりまえをたやさないまち」を目指しています。

池田町町長・杉本博文

「人々が共同して暮らす小さな社会だからこそ、人々が関わりあえる、相互扶助が生きるまちでありたいと願っています」

